

令和5（2023）年度事業計画書（案）

（2023年4月1日～2024年3月31日）

特定非営利活動法人 小児救急医療サポートネットワーク

I. 事業の実施方針

令和5（2023）年度は、事務局メンバーの交代と新規加入のもと、電話相談事業拡張を視野に入れつつ引き続き円滑な運営を行うこと、相談技術の向上、入力やデータ処理の充実、新生児の受け入れ機関を初め、大阪府における小児救急医療や子育てに貢献できるよう、他の医療機関との連携を目標とする。目標を以下の3点に集約する。

1. 電話相談事業拡張を視野に入れて、相談の充実を図る
2. 電話相談の知見を活用し、保護者支援の検討・受け入れ機関との連携を模索する。
3. NPO 法人としての活動を強化する

II. 事業の実施に関する事項

（1）小児救急等に関する相談事業

①大阪府小児救急電話相談（#8000）事業

【内容】民間会社からの委託を受け、大阪府民を対象に夜間13時間の小児救急電話相談業務を円滑に遂行する。受け入れ回線数についても、検討する。

【実施場所】大阪府小児救急電話相談上本町事務所において実施。

【実施日時】通年夜間13時間

【事業の対象者】保護者など

【収入】39,339千円（委託料39,339円）

【支出】39,339千円（人件費34,876千円、謝金500千円、通信費150千円、消耗品費150千円、法定福利費530千円、公租公課2,033千円、雑費1100千円）

②相談受付票の電子化事業

【内容】電子化相談受付票の相談員の入力能力向上、事務局のデータ処理能力の向上を目指す。

【実施日時】年間を通じて行う

【事業の対象者】事務局、相談員および相談対象の保護者

【収入】300千円（委託料300千円）

【支出】200千円（人件費200千円）

③データ集計事業

【内容】事務局で月々のデータ集計を行い、委託事業者に報告する。

【実施日時】年間を通じて行う

【事業の対象者】事務局

【収入】363千円（委託料363千円）

【支出】163千円（人件費100千円、印刷製本費63千円）

(2) 普及啓発事業

①小児救急電話相談に関する普及啓発事業

【内 容】ホームページの充実に務める。保護者が利用できる動画案内やコラム、相談機関リスト掲載と、会員ページの充実に努める。医師会員を募集し、会報を通して電話相談の理解を深める。

【実施場所】大阪府小児救急電話相談上本町事務所において実施。

【実施日時】通年・会報は年2回

【事業の対象者】保護者・大阪小児科医会会員・その他小児医療に関わる者・他の電話相談機関

【収 入】480千円（委託料480千円）

【支 出】480千円（印刷製本費480千円）

②小児救急に関する講座・講師派遣事業

【内 容】保護者対象の講座を、可能な範囲で行う。ホームページを通じて啓発内容を提示する。その他、電話相談や保護者の家庭看護力向上に向けた講演・講座に講師を派遣する。

【実施場所】大阪府内公共施設など

【実施日時】通年

【事業の対象者】保護者・小児医療従事者・その他小児医療に関わる者

【収 入】100千円（講師謝金50千円×2回）

【支 出】0千円

③家庭力向上のための支援事業

【内 容】家庭力向上のための支援策を検討する。電話相談テキストを販売する。

【実施場所】大阪府小児救急電話相談上本町事務所

【実施日時】通年

【事業の対象者】小児医療従事者

【収 入】30千円

【支 出】0千円

(3) 人材養成事業

①電話相談員研修事業

【内 容】大阪府#8000相談員を対象とした電話相談の研修を、WEBも利用して別表に示すように年間5回開催する。

【実施場所】大阪府小児救急電話相談上本町事務所・大阪府教育会館など

【実施日時】5回 土曜午後

【事業の対象者】電話相談員・その他小児医療に関わる者

【収 入】110千円（委託料110千円）

【支 出】110千円（印刷製本費30千円、謝金40千円、通信費10千円、消耗品費30千円）

②電話対応スキルアップ研修事業

【内 容】学会のWSを開催する。

【実施場所】第32回外来小児科学会会場（横浜）

【実施日時】年間1回

【事業の対象者】小児医療従事者

【収 入】50千円（参加費1.5千円×20人×1回、講師料20千円）

【支 出】30 千円（旅費交通費 30 千円）

（4）調査・研究事業

①電話相談内容の分析事業

【内 容】小児救急電話相談実績報告書において、年間の電話相談内容の分析を行い、まとめを作成する。また、相談内容からテーマを設けて分析を行い、学会発表や論文作成を行う。

【実施場所】大阪府小児救急電話相談上本町事務所など

【実施日時】通年・第32回外来小児科学会会場（横浜）

【事業の対象者】小児医療従事者・その他小児医療に関わる者

【収 入】92 千円（委託料 92 千円）

【支 出】92 千円（人件費 20 千円、印刷製本費 50 千円、消耗品費 12 千円、雑費 10 千円）

②新生児受け入れ体制整備事業

【内 容】産婦人科医を対象にした調査結果について学会発表や論文作成を行う。新生児の診療機関リストを作成し、検索できるようにする。新生児電話相談マニュアルを販売する。

【実施場所】大阪府小児救急電話相談上本町事務所・さぼネットホームページなど

【実施日時】通年・第32回外来小児科学会会場（横浜）・令和5年度大阪府医師会医学会総会

【事業の対象者】小児医療従事者・産婦人科医会・その他小児医療に関わる者

【収 入】160 千円（研究助成金 100 千円、冊子収益 60 千円）

【支 出】100 千円（雑費 100 千円）

③話中電話検討事業

【内 容】#8000 で受電できない話中電話の件数調査を行う。

【実施場所】大阪府小児救急電話相談上本町事務所

【実施日時】通年

【事業の対象者】#8000 着信対象者

【収 入】3300 千円（研究委託費 3300 千円）

【支 出】1800 千円（人件費 600 千円、印刷製本費 100 千円、通信費 500 千円、消耗品費 100 千円、雑費 500 千円）

Ⅲ. 事務局管理に関する事項

【内 容】法人事業運営に必要な事務局作業を行う

【実施場所】大阪府小児救急電話相談上本町事務所・NPO 法人さぼネット事務所など

【実施日時】通年

【事業の対象者】NPO 法人さぼネットに関わる者

【収 入】934 千円（会費 680 千円、委託料 254 千円）

【支 出】1,086 千円（人件費 856 千円、謝金 120 千円、減価償却費 80 千円、雑費 30 千円）